阿武山地震観測所の紹介

機器開発技術グループ 米田 格

去年の6月より2年間お世話になった白浜海象観 測所から阿武山地震観測所(写真1)に異動になった。 そこで新しい職場である阿武山観測所について簡単 に紹介をしたいと思う。

阿武山地震観測所は昭和5年(1930年)に大阪府高槻市に開設され、今日まで約80年間、地震観測、微小地震観測、総合移動観測、また観測所近くにある観測坑道内で地殻変動観測(写真2)など様々な観測やまた高温高圧実験(写真3)が行われてきた。



写真 1 阿武山観測所



写真 2 伸縮計



写真 3 重錘式圧縮装置

現在ではこれら観測のデータは地震予知研究センターへと集約されており、阿武山観測所は観測点の1つとなっているが、1995年頃までは微小地震観測の拠点として最先端の観測システム(写真4)などが導入され、データ収録などを行っていた。現在でも当時収録していたデータや、他観測点の古いデータ(一番古いもので約100年前のもの)が観測所内に保管されている。

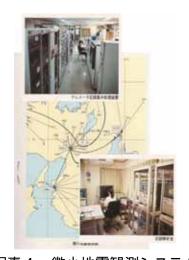


写真4 微小地震観測システム

またデータ以外にもこれまでの計測に使われていた様々な地震計(写真5、写真6、写真7)が使える 状態で観測所内に保管されている。中には日本でも数 台しかない、歴史的にも貴重な地震計も存在しており、 ときどき見学者なども訪れている。

以上、簡単ではあったが阿武山観測所の紹介とさせ ていただく。

ここからは余談だが、阿武山地震観測所では、通勤中など山の四季など(写真8)楽しめる。(地元の方もよく山を散歩されている。)

まだ阿武山観測所勤務になって、春の様子は見ていないのだが、話では桜がとてもきれいだと地元の方に 伺った。今から春の訪れを楽しみにしつつ現在も観測 所に通勤している。以上余談であった。



写真5 ウィーヘルト地震計



写真6 ガリチン地震計



写真7 佐々式大地震計



写真8 阿武山